

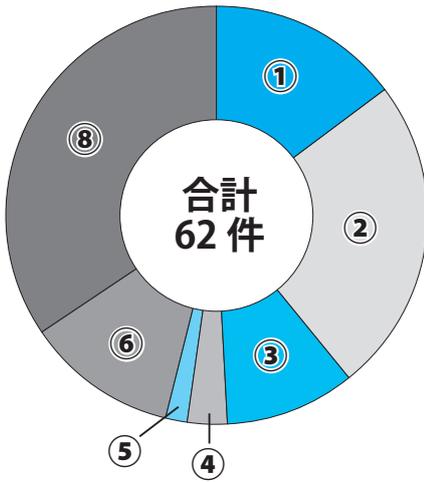
市長への手紙

令和3年度に皆さまから
寄せられた意見

市は、皆さまとの協働による住みよいまちづくりを目指すとともに、寄せられた意見を市政に反映するため、平成27年10月から「市長への手紙」の取り組みを行ってまいります。今回は、令和3年度に寄せられた主な意見の内容などを紹介します。

分類別受付件数

※回答を希望する方のみ。



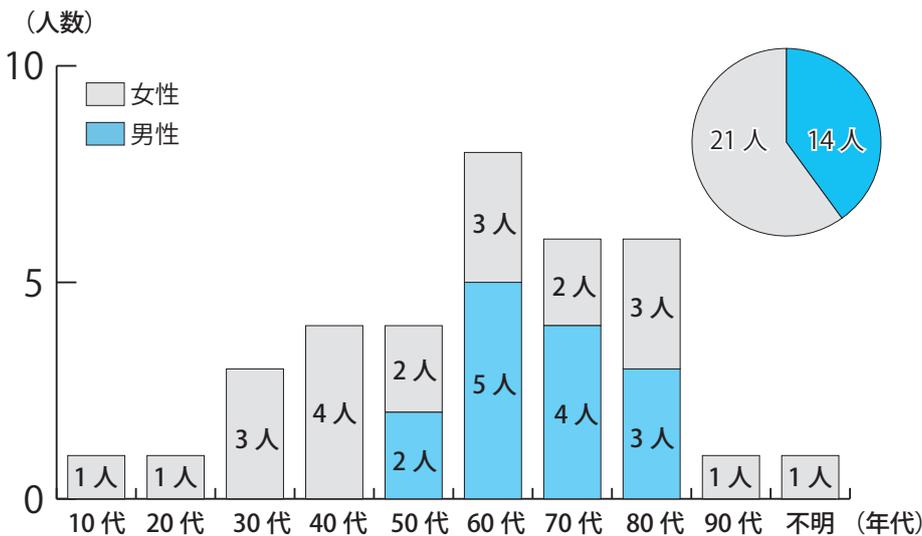
| | |
|---------|-----|
| ①教育・子育て | 9件 |
| ②建設 | 16件 |
| ③医療・福祉 | 6件 |
| ④防犯・防災 | 2件 |
| ⑤文化 | 1件 |
| ⑥公共施設 | 7件 |
| ⑦観光 | 0件 |
| ⑧そのほか | 21件 |

令和3年度は、35人の方から62件の意見をいただきました。

手紙の内容は、建設が16件と最も多い件数となっており、道路や河川などのインフラ整備に関する意見が多く寄せられました。

また、教育・子育てに関する意見が9件寄せられ、主に子育てしやすい環境づくりへの提案や要望がありました。

年代別受付件数



10代から90代までの幅広い年代から意見をいただきました。

男女比は女性が多く、年代別では60代の方からの意見が多くなっています。

■主な意見



被災直後の中橋

【回答】
令和5年度に、幅5メートル、川中央部の橋脚が2本の強靱（きょうじん）な橋が完成する予定です。



令和4年6月現在の様子

建設

令和元年の台風で倒壊した中橋は、どのような構造の橋になるのでしょうか。また、いつごろ完成の予定でしょうか。

男性（60代）小野地区【令和3年4月12日受け付け】

教育・子育て

市内に産科医を呼び、安心して出産できる場所をつくってほしい。

女性（50代）原釜地区【令和3年4月27日受け付け】

【回答】

市は、公立相馬総合病院に産婦人科の誘致を要望していますが、産婦人科医が不足しているため、南相馬市立総合病院に産婦人科医を集中させ、複数の産婦人科医立ち会いのもとに安全にお産ができるような体制を整備することが現在の県立医科大学としての方針とのこと。今後も要望活動や全国の産婦人科医に誘致を呼びかけるなどの努力をしながら、全力をあげて対応していきます。

そのほか

令和3年2月の地震の際、屋根に被害を受けた知人がブルーシートの配布を知らずにいて、もらうことができず気の毒だった。

女性（80代）西山地区【令和3年4月9日受け付け】

【回答】

ブルーシート配布の周知方法は防災メールや市公式ラインなど、電子媒体を用いて行いましたが、情報を取得できなかった方がいたことを申し訳なく思っています。

市は今後、災害時に被災者へ必要な物資が適切に配布できるように、災害対策本部などで協議・検討していきます。

【その後の対応】

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震では、防災メールなどの電子媒体のほか、広報車や防災行政無線で給水情報を流すなど、より多くの方に情報を届けられるよう改善しました。

医療・福祉

おでかけミニバスが2便になったので、曜日ごとにコースを変えてもらえると利用価値がある。

女性（80代）新沼地区【令和3年4月2日受け付け】

【回答】

おでかけミニバスの運行ルートは、タクシー事業者や地域の代表である行政区長などで構成されているルート検討委員会にて決定していますので、地区の区長さんを通して要望ください。



おでかけミニバス

今回紹介した手紙のほかにも、今後のまちづくりの参考になる意見が多く寄せられました。

寄せられた意見は、市のホームページ「市長への手紙」コーナーに掲載しています。右記のQRコードからもご覧いただけます。

住みよいまちづくりのため、今後も皆さまの声をお待ちしています。



市長への手紙

●問い合わせ先 情報政策課（☎ 37-2117）